

ごあいさつ

地域の皆様と一緒に考えて、
問題を解決する課題解決型金融を実践し、
地域の活性化に
全力で取り組んでまいります。



皆様には、日頃よりあぶくま信用金庫をご利用、お引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

当金庫に対するご理解を一層深めていただくため、ディスクロージャー誌「REPORT2025」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、令和6年度の経済情勢を振り返ってみますと、昨年7月に日本銀行は長年続いたゼロ金利政策を解除し、金融政策の正常化に向けた大きな一歩を踏み出しました。

この政策変更は、国内を金利のある世界に戻し、金融市場の歪みを是正しつつ、物価と賃金の持続的な上昇を目指すものであります。こうした政策の変更は、国内経済の安定化と成長の基盤強化が期待される一方で、国民生活への影響も注目されております。

当金庫の主要な営業エリアである浜通り地方では、福島第一原発事故の被災地域にあたる浪江町、双葉町、大熊町の駅周辺において、居住施設、商業施設、交流施設の整備事業が次々と公表され、地域再開発が活発化しています。これらの取り組みは被災地の復興を後押しし、人口増加にもつながることが期待されることから、当金庫としても金融面での支援を一層強化してまいります。

このような環境の中、令和6年度の当金庫におきましては、「あぶくま『未来を拓く変革への挑戦』3カ年計画」に掲げた各施策を推進した結果、預金積金残高は3,125億円、貸出金残高は1,016億円と、ともに過去最高の期末残高を達成いたしました。また、収益面では経常利益10億5千3百万円、当期純利益7億5千万円を計上することができました。

これもひとえに地域のお客様のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

今後も当金庫は、「あぶくま『未来を拓く変革への挑戦』3カ年計画」並びに「特定震災特例経営強化計画」に掲げた各施策を強力に推進し、役職員一丸となり被災地域の復興へ向けて全力で取り組むと共に、地域密着型金融をさらに推し進めてまいります。

今後ともより一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月

あぶくま信用金庫

理事長 太田 福裕

CONTENTS

ごあいさつ

■地域とともに

あぶくま信用金庫と地域社会	2
中期経営計画、単年度事業計画	2
地方創生への取り組み	3
SDGsへの取り組み	4～5
業績ハイライト	6～7
お客様への支援活動	8
令和6年度 主なトピックス	9
お客様の利便性向上のために	10～11
本店営業部新築移転	12～13
人材育成・働き方改革	14
主な事業の内容	15
内部管理態勢	16～21
総代会制度について	22～23

■コーポレートデータ 24

■業績のご報告(資料編) 25～49

■営業のご案内

営業店舗のご案内	50～51
しんきんネットワーク	52～53
あぶくま信用金庫のあゆみ	54
預かり資産商品のご案内	55
主な商品のご案内	56～57
主な手数料	58～59
主なサービスのご案内	60

開示項目記載ページ一覧 61

当金庫の概要 (令和7年3月31日現在)

創 立 年 月 日	昭和 25 年 9 月 12 日
所 在 地	福島県南相馬市原町区 栄町二丁目 15 番地
電 話	(0244)23-5132 (代表)
ホームページ	http://www.abukuma.co.jp
出 資 金	10,634 百万円
会 員 数	10,100 名
預 金 残 高	312,593 百万円
貸 出 金 残 高	101,620 百万円
店 舗 数	16 店舗 (うち出張所 1 カ所)
常勤役職員数	100 名 (役員 7 名、職員 93 名)

*本誌では、原則として単位未満切り捨てのうえ表示しております。したがって、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。